

-----4月27日-----

## 今週のアウトルック(4/27~5/1)

先週のドル円は97.5円を割ったことにより、下落傾向が少し鮮明になったように思います。いままでサポートとして働いていた97.5円のラインが逆にレジスタンスとして働きだすような状況にも見えます。

4/6に101円を超えて以来、達成感からの下落トレンドが出ていたようにも思うのですが、株価の上昇動向により、あまり下落トレンドが鮮明にならなかった面もあるように思います。今週からは潜在的に進行していた下落トレンドがより鮮明になるかどうか、今後を占う上でも重要なカギとなりそうです。

今週のドル円は、94円から97.5円程度を想定しています。ただ、クライスラーの破たん処理やストレステストの厳しい状況を示唆するような情報が入り、NYダウが下落トレンドに大きく傾くようなことがあれば、94円を割る状況も考えています。

また豚インフルエンザの影響も場合によっては円買いの状況を誘い出すことになると思います。

ユーロ円は先週は緩やかな上昇トレンドとなりました。週末の利益確定やG7に向けてのポジション縮小からのユーロ売りも少なかったようです。全般的にリスクを取る動きになったいたのですが、今週からはリスク回避の方向への転換を考えています。

NYダウについては、先週発表されたいくつかの経済指標の若干の改善により、楽観視傾向が少し強くなりすぎたようにも思います。今週はストレステストへの警戒感、クライスラー、GMなどの懸念からそれほど大きくリスクを取りに行く動きにはならないのではないかと考えます。

予想レンジとしては122円から129円あたりを想定しています。

ポンド円は先週、乱高下といった状況でした。先行きについての見解はかなり大きく分かれているような状況にあるように思います。経済指標については幾分下げ止まりを示唆するような傾向もあるのですが、格付けのワンランクダウン観測が重石となっている状況にあると思います。

今週も乱高下は避けられそうにないように思います。135円から145円あたりまでの大きなレンジを想定しています。

GWを控えて、東京市場の取引は少なくなるように思いますが、その分海外市場での動きが活発となりそうです。ストップをきつくつけるよりも、ポジション枚数を減らすリスク回避方法が得策のように思います。

**\* 免責事項 \***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。